ウェルビーイングに基づく政策デザイン（WBPD）習得のための

WBPD OASIS プログラム（オンライン）のご案内

2025年4月現在

一般社団法人スマートシティ・インスティテュート（SCI-Japan）

Smart City
Institute Japan

「 WBPD OASIS プログラム」立ち上げの経緯

- スマートシティの推進にあたっては、DX・脱炭素時代に相応しい新たな都市像を描き、市民、企業、大学、NPOなど多様なステークホルダーを巻き込みながら、課題設定、事業計画、技術を含む、政策プログラム全体をリードする「アーキテクト（地域経営人材）」の存在が必要不可欠といわれています。
- さらに、「デジタル田園都市国家構想」においては、スマートシティ・まちづくりの最終目的は「市民のWell-Beingの実現」であると謳われており、この中長期的な目標を明確にしたうえで、その実現に向けてさまざまな政策をデザインし、実践していくことが重要となります。
- こうした課題認識の下、一般社団法人スマートシティ・インスティテュート（SCI-Japan）では、ウェルビーイングに基づく政策デザイン（Well-Being-Based Policy Design （WBPD））を習得するための研修プログラムとして、**「WBPD OASIS プログラム」**を立ち上げることとしました（以下６コースを設定）。

  A 「WBPD OASIS プログラム（ガバメント）」 ～自治体職員向け

  B 「WBPD OASIS プログラム（ビジネス）」 ～民間企業向け（ビジネスモデル創出目的）

  C 「WBPD OASIS プログラム（オンライン）」 ～WBPD OASIS プログラム（ガバメント）の個人・オンライン版

  D 「WBPD OASIS プログラム（エグゼクティブ）」 ～自治体首長・民間企業役員～部長クラスまでの幹部向け

  E 「WBPD OASIS プログラム（マスター）」 ～WBPD OASIS Practitioner 資格保有者（A、Bの受講修了者）向け

  F 「WBPD OASIS 1Dayワークショップ」 ～本格プログラム実施前の1日の体験ワークショップ
- この「OASIS研修」は、SCI-Japanが別途実施するスマートシティ推進人材育成のための「City-Region MAPプログラム」の上位プログラムとして位置付け、WBPDの習得に特化した**より高度、より実践的なプログラム**となっております。

「WBPD OASIS プログラム」一覧

コース名	対象者／定員	受講期間／プログラム概要	受講料（税込）
A **WBPD OASIS** **ガバメント**	● 地方自治体職員 ● 総合政策・スマートシティ・まちづくりの推進に関わる部署のマネジメント～中堅層 ● 20名まで	● 月1回、計6か月（原則） ● 90分（講義、事前課題の発表、グループディスカッション）×6回 ● 毎回、事前課題（個人ワーク）有	● **1団体／50万円（55万円）** ● 講師の出張交通費・宿泊費は別途 **※相乗り参加の場合** **民間：1名／40万円（44万円）** **大学、NPO：1名／20万円（22万円）**
B **WBPD OASIS** **ビジネス**	● 民間企業役職員 ● スマートシティ・まちづくりにおけるビジネスモデルの創出に関わる部署のマネジメント層～中堅社員（部課長） ● 20名まで	● 受講期間、講義回数、事前課題等は、上記と同じ ● 「WBPD OASIS ガバメント」を基本としつつ、民間企業によるビジネスモデルの創出を目的に一部内容をアレンジ	● **1社／400万円（440万円）** ● 講師の出張交通費・宿泊費は別途
C **WBPD OASIS** **オンライン**	● 官民問わず、OASISプログラムを学びたい個人向け*1 ● 5名以上（最大8名）*2 **＊1　個人・個人事業者等の申込に限定、法人単位での受講は不可** **＊2　5名以上の受講者を集めたうえで代表者がお申込いただくことが条件となります**	● 全てオンライン開催 ● 月1回、計6か月（原則） ● 90分（講義、事前課題の発表、グループディスカッション）×6回 ● 毎回、事前課題（個人ワーク）有	● **1申込／40万円（44万円）** **※法人単位での申込・受講は不可** **（AもしくはBでお申し込みください）**

「WBPD OASIS プログラム」一覧

コース名	対象者／定員	受講期間／プログラム概要	受講料（税込）
D **WBPD OASIS** **エグゼクティブ**	● 地方自治体、民間企業 ● 自治体の首長（民間企業担当役員）～部長級までの幹部職員向け ● 20名まで	● 1回／90分 ● 以下の3項目に関する集中講義 ①ウェルビーイングの概要、 ②地域幸福度指標の概要、 ③政策デザインやビジネスモデルデザインの概要	● **地方自治体** **1団体／15万円（16.5万円）** ● **民間企業** **1社／30万円（33万円）** ● 講師の出張交通費・宿泊費は別途
E **WBPD OASIS** **マスター**	● WBPD OASIS Practitioner 資格保有者（OASISガバメント or ビジネスの受講修了者） ● 10名まで	● 初回オリエンテーション(オンライン) ● 以降、課題（原則として個人ワーク）をSlackまたはメールで提出。 ● 一連のアサイメントを通じて、政策提言を作成。 ● 質問は適宜（家庭教師方式）。	● **地方自治体** **1団体（5名以上の参加が条件、最大8名）／50万円（55万円）** ● **民間企業** **1名／50万円（55万円）** ● 講師の出張交通費・宿泊費は別途
F **WBPD OASIS** **1Day** **ワークショップ**	● 地方自治体、民間企業 ● 30名程度	● 1日の体験プログラム ● Well-Beingに関する講義（120分） ● 体験ワークショップ（180分）	● **地方自治体** **1団体／30万円（33万円）** ● **南雲代表理事アドバイザー就任先** **1団体／20万円（22万円）** ● **民間企業（正会員）** **1社／50万円（55万円）** ※上記以外の方は事務局までお問合せください ● 講師の出張交通費・宿泊費は別途

C「WBPD OASIS プログラム（オンライン）」の概要

- 名称：**「WBPD OASIS プログラム（オンライン）」**
- 講師：SCI-Japan代表理事　南雲 岳彦
- 研修内容：詳細は後掲
  - 90分（講義、事前課題の発表、グループディスカッション）×6回のプログラム
  - 毎回、事前課題（個人ワーク）を行っていただきます
- 開催頻度：月1回程度（約6か月のオンラインコース）

  ※事前課題の作業時間を考慮し、月1回頻度の開催をお薦めしております
- 開催日時：申込団体にて決定（事前に講師と調整のうえ）
- 開催方法：オンライン（Zoomまたは、Teams）
- 定員：5名以上（最大8名）　（最低、5名以上の受講者を集めたうえで代表者がお申込みください）

受講対象：自治体・民間を問わず、スマートシティ・まちづくりの推進等に関心のある個人＊

＊個人・個人事業主等の申込に限定、法人単位での申込・受講は不可となります

- 目指すゴール：WBPDの実践者として活躍できるレベル（詳細は別紙の通り）
- 申込受付：随時受付

C「WBPD OASIS プログラム（オンライン）」の概要

- 費用（税抜）：**40万円（1名あたり、2万円～8万円）**
- 修了要件・資格付与：以下の要件をクリアした受講者に**「WBPD OASIS Practitioner」**（実践者レベル）の資格を付与

  ①全6コマの研修に参加（基礎理論・手法）、②プロジェクト実践レポートの提出（審査あり）

  なお、上位資格である**「WBPD OASIS Master」**（指導者レベル）を取得するためのプログラムを別途提供
- 資格ホルダー・受講者のコミュニティ：
  - オンライン：資格保有者・受講者が参加するオンラインコミュニティ（Slack）を立ち上げ
  - リアル：SCI-Japan主催のイベントへの招待、OASISメンバーに特化したイベントの開催
- アワード実施：OASISモデルに沿って立案され、市民の幸福度を高めた政策に対する年次アワードを実施予定
- 主　催：一般社団法人スマートシティ・インスティテュート（SCI-Japan）